

# ひかり

2024年4月号



Pentecost

## 日本聖公会 三光教会

第722号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nsskk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

私は、あなたがたをみなしごにはしておかない。あなたがたのところに戻って来る。しばらくすると、世はもう私を見なくなるが、あなたがたは私を見る。私が生きているので、あなたがたも生きることになる。

(ヨハネによる福音書 14:18-19)

### 祝福を祈る

司祭

シモン・ペテロ 上田憲明

現代は、祝福を願う技術がずいぶんと衰退している時代なのかもしれません。目に見える結果が出ないと、そこには祝福さえもなかったかのように捉えてしまう「認識の癖」をいつのまにか私たちは学んでしまっているからです。目に見えるご利益を祝福そのものと勘違いしてしまいやすいのが、現代人なのかもしれません。もちろん、誰かのために「何かいいことが起こるように願う」、つまりご利益を願うことも祝福の一部分なので、なおさら混同しやすいのかもしれません。

祝福は、自分が直接利益をもたらせないかもしれないことを認めるところから出発します。してあげたい事が完全にはしてあげられない事実を受け止める。祝福される人の遠い未来までも含め、そこに自分が直接は関われない可能性が高い事も受け止める。それでもなお、その人の幸せや最善を願い続ける気持ちを神さまにゆだね

ていくことが、祝福をするということなのではないかと思つています。

わたしたちが自分のベストをいかに尽くさなければならぬかの話をするのは、まだたやすいことでしょう。でも、実際の場面では、わたしたちがベストを尽くすだけでは足りないことが起こります。いろんな人を巻き込んで、みんなでも取り掛かって何とか処理できる時もあります。一方で、みんなでも全力で当たっても、結局はどうしようもなかったという現実には打ちのめされることだって起こるのです。それでも、最善を望み、自分たちが精一杯にしていたなら、結果が出た後、いろいろと後悔したとしても、その過程そのものが、祝福の内にあつた、と悟る日がやがて来るのではないかと思います。

例えば、病氣や怪我を負った人は、元の状態に戻ろうというイメージで治療や療養に励む人が多いです。でも、全く元と同じ状態に戻ることはないのではないかと思います。その人は病氣に罹る体験をしたのです。怪我をする体験をしたのです。病氣や怪我が治ったとしても、病氣や怪我が持つ意

味、治っていく過程で体験する意味を得た上で、日常の流れに合流していこうとしているのです。見過ごしにされがちですが、病氣や怪我をした人たちは、そういった意味を捉えなおすチャンスを持っていることも確かなのです。それが例えばトラウマになるような体験だったとしても、いつかは、それが、その人にとっての人生が祝福されるようなターニング・ポイントとなるように願います。

祝福を願う技術を向上させるには、日々出会うていく人々たちを覚えて、実際に祝福を願いながら関わる練習が必要なのかも知れません。そして、かつて会った人たち、まだ見ぬ人たちのためにもお祈りすることへと繋がっているのだでしょう。

これから、三光教会の皆さまと共に、神さまの祝福を様々な人のために祈っていくことを願っています。どうぞ、よろしく願っています。

## 《二挨拶》

司祭

シモン・ペテロ 上田憲明



みなさま、こんにちは。真光教会および大森聖アグネス教会管理牧師、そして三光教会主任牧師の上田憲明です。大阪生まれの大阪育ち。1982年関西大学文学部英文科卒業し、聖公会神学院も卒業後、1985年には伝道師として横浜山手聖公会に勤務。1年3ヶ月後には横浜聖アンデレ教会に勤務。その間に、1987年7月に、執事接手。1988年4月からは、また横浜

山手聖公会に1991年6月まで勤務をしていました。

聖公会神学院で、高木亜樹子

と出会い、1986年11月に結婚しました。当時、聖公会では、厳密な意味での女性牧師はいなかった中で、女性で、結婚もして、牧師にもなりたいたと公に言い始めたのは、妻の亜樹子が初めてでした。いろいろなことがあったのですが、最終的には当時、亜樹子は日本聖公会の中で牧師になれなくなってしまうので、その頃もう既に、女性の牧師が既に活躍していたアメリカに行つて、牧師になろうという道を探り始めました。1991年には、亜樹子はボストンの隣町ケンブリッジ市にある聖公会の神学校に入学し、私も横浜教区に休職届けを出し、その地へと移り住み、生活費のためアルバイトをし、日本語での電話相談と日本語礼拝をボランティアでやっていました。

3年後、1994年に亜樹子が卒業して、ハワイで亜樹子は病院のチャプレンの研修を受け、病院チャプレンの経験を積む4年を過ごし、私の方は、その間、英語の礼拝のお手伝いと日本語礼拝、またハワイでも日本語電話相談をボランティアでし、いろいろなアルバイト

をしていました。ハワイで亜樹子が病院の仕事をやめたので、今度は、自分の研修にもなるし、私も亜樹子と同じような過程を2年間経た後、2年弱でしたが、クアキニ病院の専任チャプレンを2002年11月までさせていたでいていました。

1998年には日本聖公会でも女性司祭が認められました。私たちの方でも、亜樹子が執事接手、司祭接手を受け、2001年にはハワイアンの人たちが多い小さな教会の牧師になっていたのですが、立教大学のチャプレンにならないか？と3度目にお話をいただいた時に、日本に帰つて来る決意をしました。

2003年に日本に帰つてくると、私の方は聖路加国際病院の当時のチャプレン井原司祭から、ぜひ手伝つてということで、手伝い始めましたが、井原司祭は2005年に亡くなられ、実質上、聖路加国際病院チャプレンの仕事をフルタイムでやるようになり、2007年に司祭接手を受けました。

私の母親は、大阪に一人で住んでおり、認知症が段々と進んできたので、一旦聖路加を辞めて、2012年からは大阪に住みました。2013年には、桃山学院中学校高等

学校のチャプレンと大阪聖アンデレ教会の副牧師をさせて頂いていただきました。2014年10月からは再び聖路加に戻り、その後再び主任チャプレンとしてこの3月に定年退職になるまで、聖路加で働かせていただきました。今回三光教会の牧師として着任することになりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

4月・6月の予定

◆4月	21日(日)	復活節第4主日	◆5月	1日(水)	使徒聖ヒロバ・使徒聖ヤコブ日
	23日(火)	殉教者ジョージ		2日(木)	主教教会博士アタナシオ
	25日(木)	福音記者聖マルコ日		4日(土)	モニカ
	28日(日)	復活節第5主日		5日(日)	復活節第6主日
	29日(月)	おとめシエナのカタリナ			主教教会博士ナジアンソスのグレゴリー
◆6月	1日(土)	殉教者ジャスチン		6日(月)	5月逝去者記念礼拝
	2日(日)	聖霊降臨後第2主日		9日(木)	昇天日
	3日(月)	アフリカの殉教者		12日(日)	復活節第7主日
	5日(水)	殉教者主教ボニフエース		19日(日)	聖霊降臨日
				22日(水)	夏期聖職按手節
				24日(金)	夏期聖職按手節
				25日(土)	夏期聖職按手節
				26日(日)	司祭教会博士ビード
					三位一体主日・聖霊降臨後第1主日
	30日(木)	聖餐感謝日			
	31日(金)	おとめマリヤの訪問			

上田憲明司祭 牧師任命式の日に（4月7日）



萩原充司祭 送別会（3月31日）



撮影・石川 恭温

### 教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

### はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

### 礼拝のご案内

#### ■ 主日礼拝

- 午前 7:30 聖餐式
- 午前 10:30 ステパノ会（日曜学校）礼拝
- 午前 10:30 聖餐式
- 午後 4:00 夕の礼拝

#### ■ 平日礼拝

- 毎朝 6:30 から
- 月、水、金は朝の礼拝、火、木、土は聖餐式